

絵画：想起のかたち 佐川晃司×安喜万佐子展

Paintings: Reflections on Forms, Shape of Recollection

2023年7月22日(土)―9月10日(日)

奈義町現代美術館ギャラリー

開館時間：午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)、

祝日の翌日(但し8月12日[土]は開館)

入館料：一般・大学生200円(高校生以下・75歳以上は無料)

※常設展と一緒に観る場合は通常入館料700円でご覧いただけます。

主催：奈義町現代美術館

〒708-1323 岡山県勝田郡奈義町重沢441

Tel.0868-36-5811 Fax.0868-36-5855

<https://www.town.nagi.okayama.jp/moca/>

奈義町現代美術館公式Facebook

■関連企画：

9月10日(日)午後2時30分～美術館ギャラリー

佐川晃司×安喜万佐子によるトーク。

作家が自作について語り合います。

Nagi MOCA



佐川晃司「半面性の樹No.108」キャンバスに油彩 227.2×162.1cm 2018年



安喜万佐子「Obiterated Ground(snow in Hiroshima) 網膜の雪」顔料・土・テンペラ・油彩/オパネル・麻布・ボロニャ石膏 180cm×270cm 2004～2018年

SAGAWA Koji YASUKI Masako

◎学芸員によるギャラリートーク
(会期や随時)

ご希望の方に学芸員が作品解説をいたします。
学芸員不在の場合もございますのでご了承ください。

作家来館日：
7月22日(土)と9月10日(日)は来館予定。
(都合で来館できない場合もあります)
※その日以外にも会期中には来館予定です。

絵画：想起のかたち 佐川晃司×安喜万佐子展

奈良町現代美術館では、「絵画：想起のかたち 佐川晃司×安喜万佐子展」を開催する運びとなりました。
日常の風景と知覚の関係について考察し、絵画表現の持つ可能性を本質的に問おうとする作品を一貫して制作してきた佐川晃司。
世界の様々な場や土地を取材していき、その場所や風景の記憶、時間を切り口としながら、
他者の「記憶」に深く関わろうとする独特のスタンスで絵画を制作展開させてきた安喜万佐子。
「風景」という共通のモチーフを共有しながら、
異なる視線とアプローチから捉えた絵画制作を展開していく関西を代表する二人の画家による展覧会です。
一貫して色面や線、幾何学的なシンブルで重層した深い色調から構成された独自の画風を確立してきた佐川と、
東洋と西洋の技法を取り入れ、場所の記憶と時間の痕跡等が幾重にも重なる安喜の絵画が、
奈良の場所で交わり合うことで互いに響き合い、観る者の感覚に多角的、重層的な経験を促し、
揺さぶりをかけてくる作品空間となることでしょう。



佐川晃司「半面性の横断No.119」キャンバスに油彩 194X245cm 2022年



安喜万佐子「時の霧（伊吹）」顔料・顔料/木パネル・麻布・ポロニーヤ石膏 170cmX160cm 2022～2023年

右：「時の霧（伊吹の松）」金箔・顔料・顔料・顔料/六曲屏風 182cmX377cm 2023年



安喜万佐子「Pine Trees 松林図 #7」金箔・顔料/木パネル・麻布・ポロニーヤ石膏 サイズ可変 2018～2022年

佐川晃司 SAGAWA Koji

1955年 福井市生まれ
1985年 東京芸術大学美術研究科 博士後期課程満期退学
現在 京都精華大学芸術学部 教授

主な個展

1980年 「佐川晃司展—南北の森(東京)【初個展】」
1992年 「近作展10 佐川晃司」国立国際美術館/大阪
2006年 「場からの創出」豊田市美術館(愛知)
2013年 「絵画意識」ギャラリー16(京都)
2016年 アートドキュメント2015「佐川晃司 絵画-見ることの向こう」金津創作の森/福井
「絵画意識-静かな場所1」ギャラリー16/京都
2017年 「絵画意識-静かな場所2」2kwギャラリー/滋賀
2019年 「絵画意識-静かな場所3」2kwギャラリー/滋賀
2021年 「絵画意識-静かな場所4」2kwギャラリー/滋賀
2022年 「絵画意識」ヒノギャラリー/東京
2023年 「絵画意識-静かな場所5」ギャラリー16/京都

主なグループ展

1992年 「現代美術への視点—形象のはざまに」東京国立近代美術館/東京
国立国際美術館/大阪
1994年 「VOCA展'94」上野の森美術館/東京
1995年 「水戸アニュアル'95 絵画考—器と物産」水戸芸術館現代美術ギャラリー/茨城
2022年 「さまざまな眼125 佐川晃司・村岡三郎」かわさきIBM市民文化ギャラリー/神奈川
2006年 「画家がいる場所」小杉放電記念日光美術館/栃木
2007年 「DIALOGUES コレクション活用術 vol.2」滋賀県立美術館/滋賀
2023年 「ふたり展 佐川文子・佐川晃司」佐川晃司 KOUBA GALLERY/福井

安喜万佐子 YASUKI Masako

1970年 大阪市生まれ
1994年 京都精華大学大学院美術研究科修了
2001年 エジンバラ芸術大学ゲストアーティスト(大阪府芸術家派遣事業)
2015年 米国スミス大学 滞在研究員(文化庁新進芸術家海外派遣)
2020年 英国ロンドン芸術大学 ゲストアーティスト

主な個展

1993年 galerie16/京都【初個展】
2000年 Sculpture Court Gallery [eca]/英国
2003年 BASE GALLERY/東京
2018年 「鏡の石 / 沈黙の水鏡」The Artcomplex Center of Tokyo Hall/東京
2020年 「Chaos from Order (時の霧)」京都場
2022年 「時の海・明日の地層」FEI ART MUSEUM YOKOHAMA/神奈川
2023年 「光の行進 うつされる時・うつされない像」ギャラリー16/京都
「時の霧 近江景」2kwギャラリー/滋賀

主なグループ展

1999年 「VOCA展 新しい平面の作家たち」上野の森美術館/東京(2002年)
2004年 「Confronting Tradition」スミスカレッジ美術館/米国
2005年 「City net Asia」ソウル市立美術館/韓国
2010年 「GOLD EXPERIENCE」Hyun Gallery/韓国
2013年 「IPP (モスクワビエンナーレ特別プログラム)」ロシア近代史博物館/ロシア
2016年 「3331 ART FAIR コレクターズプライズ」アーツ千代田3331/東京 長屋博賞受賞
2018年 「KIMIKO YOSHIDA & MASAKO YASUKI」RuArts Gallery/ロシア
2021年 「国宝のある芸術祭 2021」越前山仁和寺/京都
2022年 「きがふれてvol.2 日高恵里子・安喜万佐子・山部泰司」ギャラリー16/京都
「Seika Artist File #1 ゆめくいきものたち」京都精華大学 Gallery Terra-S/京都

交通機関ご案内

- 1 岡山駅より約2時間30分
JR岡山駅(津山線)→津山駅(バス、タクシー)→美術館
- 2 岡山桃太郎空港より約2時間
岡山桃太郎空港(集合タクシー)→津山駅(バス、タクシー)→美術館
- 3 大阪駅より約3時間
大阪駅(高津バスターミナル発、新大阪駅経由)→美作インター停留所(バス、タクシー)→美術館



奈良町現代美術館